

そろばんの楽しさに触れ、伸びる実力、膨らむ夢

全国珠算学校連盟主催の暗算検定2段合格

玉村 光希君 こうき

第一珠算学校(及川貫校長)に通う玉村光希君(江釣子小1年生)は1月、全国珠算学校連盟主催の暗算検定2段に合格しました。

段位検定は3桁同士の乗暗算や5、6桁を3桁の数字で割る除暗算、3〜5桁を加算していく見取算で中学生でも得点を重ねるのは難しく、2段は300点中110点以上(7段までは各20点、8段以上は各30点加算)を取らなければならぬもの。玉村君は乗暗算2段、除暗算7段、見取暗算4段で暗算検定2段に合格し、「乗暗算がいつもより点数が取れなかったけれど、2段を取れて良かった」と喜んでいました。

玉村君は昨年3月、小学校入学前と同連盟主催の暗算検定初段、小学1年生になり、11月には同連盟主催の珠算検定1級に合格。どちらも同連盟若手県支部では最年少での



合格となりました。ほかにも日本商工会議所主催の珠算能力検定1級にも合格するなど、次々と難関を突破しています。玉村君は幼稚園年中の5歳のとき、そろばんを習っていた母の勧めでそろばんを初めました。練習をしていくうちに、今までより計算が速くできるようなることが楽しく、週2回1時間くらいの練習でめきめきと実力を付けていきました。

小学校では体育と算数が好きで、高学年になったらバスケットボールをしたいと話す玉村君ですが、今は今月に行われる検定に向けて、一生懸命練習しています。目標は「いっぱい練習して、小学生のうちに10段に合格したい」と話し、常に高い目標を持って練習しています。そして、「おばあちゃんと一緒にそろばんを教えたい」と将来の夢を笑顔で話していました。

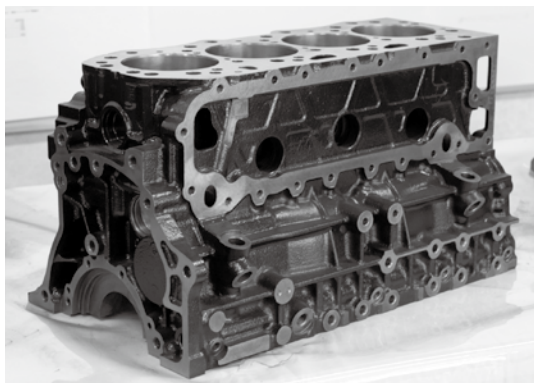


Made In KITAKAMI

たかみ生まれ

市内製造業の製品をご紹介します

ディーゼルエンジンのシリンダーブロック



直列4気筒のトラック用シリンダーブロック

シリンダーブロックとはエンジンを構成する部品の一つで、その骨組みのこと。加熱して溶かした約1,500度の鉄を砂で作った型に流し込み、冷えて固まった後、型から取り出して作られる鋳物製品です。エンジンにとって重要な部品であり、「鋳物を制する者、エンジンを制す」の思いで、品質管理を徹底しています。いすゞ自動車製のトラック、バスをはじめ建設用機械、産業機械、船舶などのエンジン用鋳物素材として年間50万台出荷されています。

株式会社アイメタルテクノロジー北上工場
和賀町後藤2-106-6 ☎73-8501



中央図書館 ☎ 63-3359 江釣子図書館 ☎ 77-2215 和賀図書館 ☎ 72-2322
 中央図書館のホームページ <http://www.library-kitakami.jp/>

《3月の新着本から》

- | | | |
|-------|-------------------|-------------|
| ▼ 一般書 | 道化師の蝶 | 円城 塔 |
| | 日本人はどう住まうべきか？ | 養老 孟司・隈 研吾 |
| | 免疫力をあげる子育て法 | 安保 徹・西原 克成 |
| | 100歳までボケない手指体操 | 白澤 卓二 |
| | 無双の花 | 葉室 麟 |
| ▼ 児童書 | みんなが知りたい放射線の話 | 谷川 勝至 |
| | どうやって作るの？パンから電気まで | オールドレン・ワトソン |
| | イチゴがいっぱい | 竹内 もと代 |
| | 今日から囲碁をはじめ | 相場 一宏 |
| | いたいのいたいのとんでゆけ | 新井 悦子 |

《4月のイベント情報》

■おはなし会

4月8日(日) 午前11時～11時30分 中央図書館
 4月15日(日) 午前11時～11時30分 江釣子図書館

■こども映画会

4月28日(土) 午前10時30分～11時30分 中央図書館

《おすすめ新着本》

『共喰い』



田中慎弥／著
集英社

川辺の町で起こる、逃げ場のない血と性の濃密な物語を描いた。「すばる」掲載を単行本化。(第146回芥川賞受賞)

『はばたけ、ルイ！ 少年ルイ・アームストロングとコルネットの真実の物語』

ミュリエル・ハリス・ワインスティーン／作
リーブル

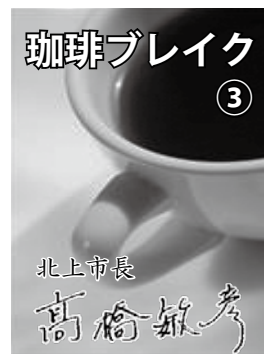


一人の貧しい黒人少年が、質屋の店先でコルネットという楽器と出会う…。偉大なジャズ・ミュージシャン、ルイ・アームストロングの少年時代から本格的デビューまでを描いた伝記的物語。

石垣島マラソン(2)

まずは博物館へ。本土とは全く異なる歴史を持ちながら、台湾の影響は少なく、琉球王朝の影響が強い独特の文化が印象に残った。戦争マラリア記念館では、第二次世界大戦での住民の苦しみを今に伝える展示を、真に迫る解説で体験させていただいた。このほか、特産のみんさー織や石垣牛の牧場、マラソンコースなど…大会前日の忙しい中、丁寧に案内してくれた石垣市役所の職員には、本当に頭が下がる思いである。

夜は岩手県選手団の激励会が開かれ、エントリーした健脚53人が抱負を述べた。美しい景色を眺めながら楽しんで走りたいといった言葉が多かったが、中には優勝を狙うと宣言した若者もいて、大盛り



上がりだった。宮古市から参加した女性で、北上マラソン代表の大久保和美さんは、マラソン出場3回目。優勝という言葉は出なかったものの、秘かに狙っていたのかもしれない。

当日のスターターは元プロボクサーの具志堅用高氏で、総数4千人を超える参加者のスタートは迫力があつた。私たちはゴール手前10分付近へ移動して応援。今までは岩手県代表がよく優勝していたそうだが、今年は10回目の記念大会とあって、多くの強豪が参加したそうだ。男子は残念ながら上位で通過することはなかったが、女子は大久保さんが首位とわずかの差で2位通過。大いに期待しながら陸上競技場に引き返すと、なんとトップで競技場に帰ってきた。ゴール前で夢中でシャッターを押し、その瞬間をカメラに収めた。

その夜のかけはし交流会が大いに盛り上がったのは言うまでもない。今年のいわて北上マラソンにも多くの石垣市民が参加してくれるという。今から楽しみである。